

## (2) 姫路駅西地区整備構想

JR姫路駅の北西に位置し、山陽姫路駅に近接する姫路駅西地区は、公共交通への利便性、人にやさしい回遊空間性、対面販売による卸・小売り店舗の存在等の立地特性を活用し、例えば播磨地域の食材が揃う播磨市場など、地域コミュニティが形成された、ふれあいと魅力のある地区として再生を促進します。

- エントランスゾーンからの動線の確保に努め、来街者の回遊性を高めます。
- まちづくり活動にも活用できる広幅員の歩道を、都市計画道路内々環状西線に配置します。
- 地元住民や地元協議会における地区の整備方針を踏まえ、連携を図りながら各種まちづくり事業の成立性の検討を進めます。

### 駅西地区の現状



### (3) 都心部の道路整備

通過交通の抑制や過度な流入交通の抑制等による都心交通の円滑化と安全で快適な歩行者動線の確保を図るため、JR姫路駅を中心に内々環状、内環状及び中環状を骨格とする幹線道路網を構築します。特に内々環状の内側は、地区全体として歩いて楽しいまちと位置づけ、通過交通が流入しにくい道路形態とするなど、自動車の流入を抑制する方策の導入を検討します。

- 鉄道高架事業の完了時を見すえ、姫路市都市計画道路整備プログラムに基づき、内々環状を形成する内々環状東線、内々環状西線及び内々環状南線、内環状を形成する船場川線及び内環状東線等の整備を進めます。
- 国道2号等の一方通行解除に向けて、道路整備などに努めるとともに、要望活動を積極的に推進し、一方通行解除に努めます。なお、当面は関連道路の整備状況を勘案しつつ、適切な交通処理をおこないます。



内々環状西線の現状



内々環状東線の現状



幹線道路の一方通行